

ASUZAC

Contents

イージーウォール (一体型簡易積みブロック)	P.122	ビオロック (河川護岸ブロック)	P.170
ek ロック (省力化ポーラス大型積みブロック)	P.130	テトラック PG (河川緑化護岸ブロック)	P.172
しずか 河川用 (ポーラスコンクリート大型ブロック)	P.133	テトラック法尻ブロック (危機管理型ハード対策『法尻の補強』)	P.174
トラペロック 45 【1:1.0】勾配水平積みブロック	P.135	法肩ブロック (危機管理型ハード対策『天端の保護』)	P.178
NB ロック (河川護岸・砂防護岸用 2m大型練張りブロック)	P.139	ポラメッシュ DR (河川堤防用ドレーン工法)	P.181
イージーストーン (一体型簡易張りブロック)	P.144	エルドレーン透水性堤脚保護ブロック	P.184
リバーズフレーム (河川用法枠ブロック)	P.151	急勾配用基礎ブロック 500 型 (河川製品関連パーツ)	P.187
グランデロック (River) (河川用 2m大型張りブロック)	P.157	緩勾配用基礎ブロック 500 型 (河川製品関連パーツ)	P.188
グランデプラス (河川用大型張りブロック)	P.161	中部地整型護岸基礎ブロック (河川製品関連パーツ)	P.189
水中リフライディング工法 (大型連結ブロック水中落とし込み施工法)	P.164	隔壁・小口止・巻止ブロック (河川製品関連パーツ)	P.192

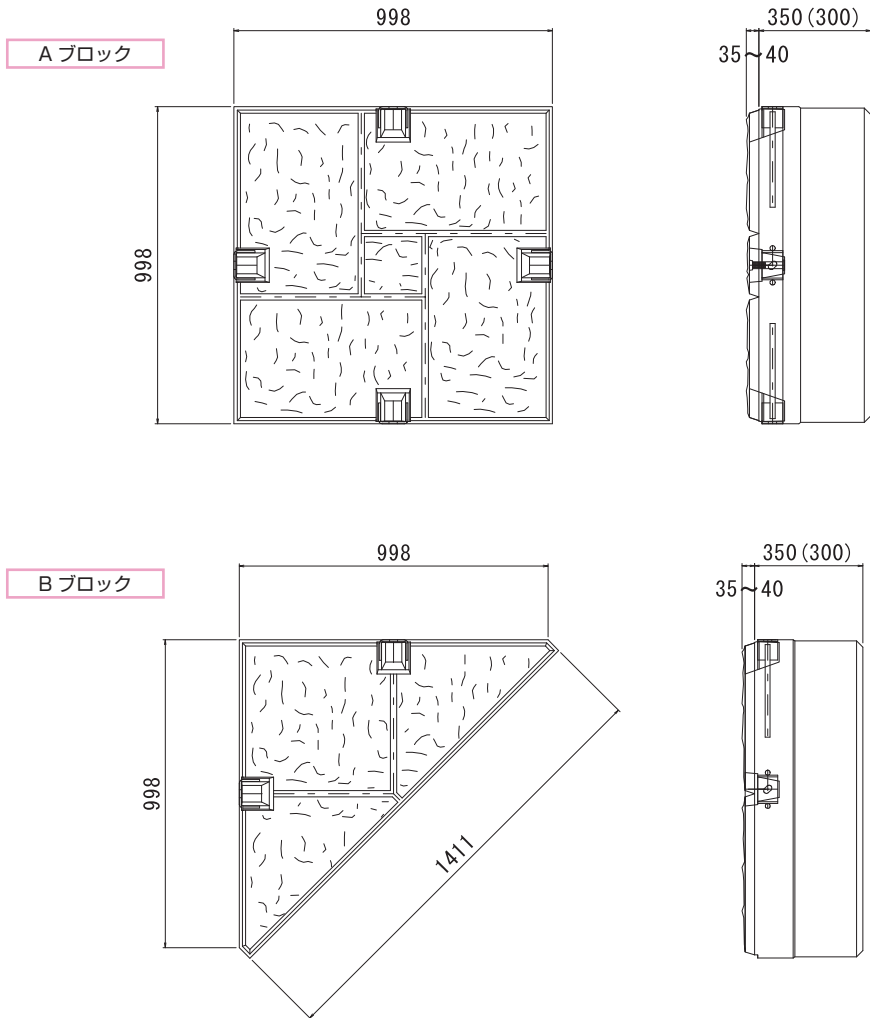
大型連結コンクリート張りブロック



特長

1. コンクリートブロック張り工（間知ブロック張り工）の胴込めコンクリート作業が無く大幅な工期短縮が期待できます。
2. 控え 35cm 以上を確保し、コンクリートブロック張り工と同等の護岸重量を確保できます。
3. フランジ部分を専用ボルトで強固に連結するブロックで、屈撓性能はなくコンクリートブロック張りのような一体性を持つことができます。
4. 製品同士が隣り合う箇所に止水ゴムを貼り、フランジをボルトで連結して止水ゴムを潰すことにより、止水性の確保、背面からの吸出しを防止します。
5. 目地モルタルの併用が可能で、より止水性を期待できます。
6. 805kg/m²以上を確保しているため、流速に対して安定しやすくなります。
7. 即時脱型製法（Vicon 製法）で作られているため、凍害に対する抵抗性が高く、急ぎのオーダーにも対応が可能です。
8. 粗面模様と即時脱型製法のため、明度が低下し陰影を持たせ景観性が向上します。
9. 裏込めコンクリートがいらぬことにより、「生コンクリートの管理」、「裏込めコンクリートの充填確認」が必要なくなります。

製品寸法図



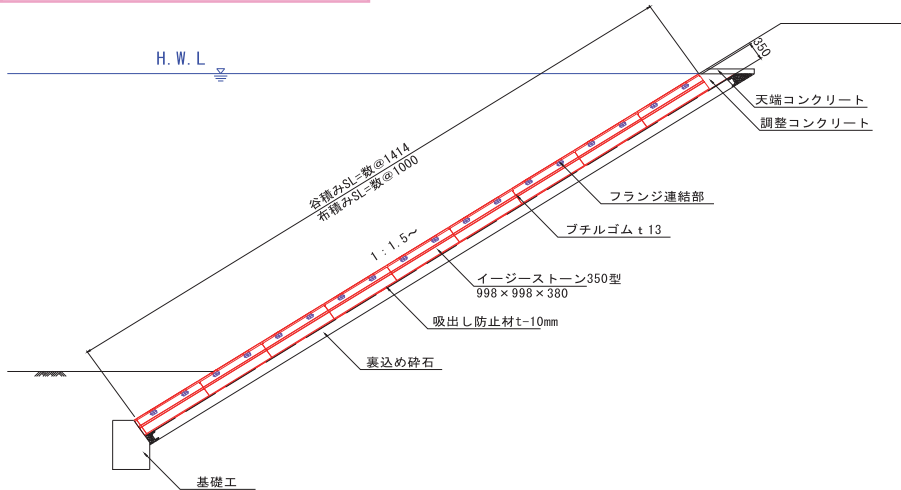
製品規格寸法表

名称	製品規格	参考重量(kg/個)	備考
350型 Aブロック	998×998×380	812	1.00m ³ /個
350型 Bブロック	998×998×380	460	0.57m ³ /個
300型 Aブロック	998×998×330	703	1.00m ³ /個
300型 Bブロック	998×998×330	397	0.57m ³ /個

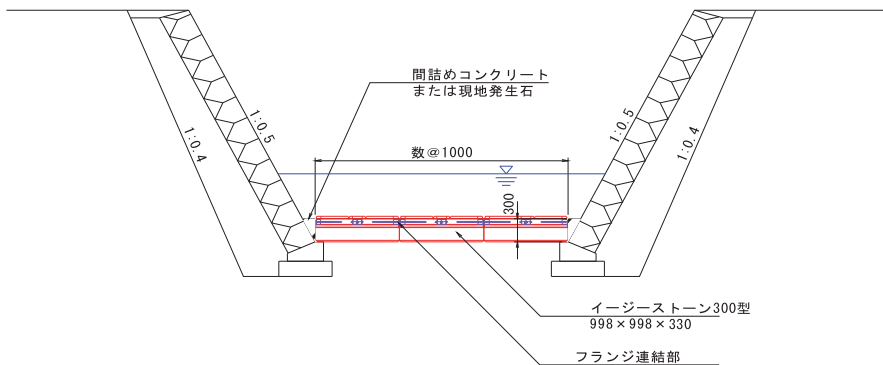
L型擁壁
 擁壁
 のり面
 張出製品
河川製品
 ため池
 ボックハート
 バイパス管
 マンホール
 側溝
 道路製品
 水路製品
 貯留システム
 石材
 付録

使用用途：【河川護岸 コンクリートブロック張り工】【河川三面張底張りブロック】

河川護岸 標準断面図



コンクリート三面張 底張り工断面図



L型擁壁

擁壁

のり面

張出製品

河川製品

ため池

ボ
カル
パート

パイ
ン台
付管

マン
ホール

側
溝

道
路製
品

水
路製
品

貯
留シ
ステム

石
材

付
録

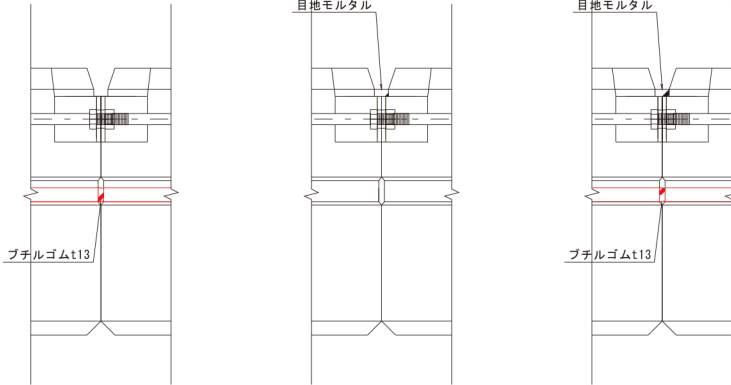
ブロックジョイント部分止水方法

フランジをボルトで締め込むことにより、ブチルゴムが潰れ、止水性が期待できます。

(ブチルゴム止水)

(目地モルタル止水)

(ブチルゴム・
目地モルタル併用止水)

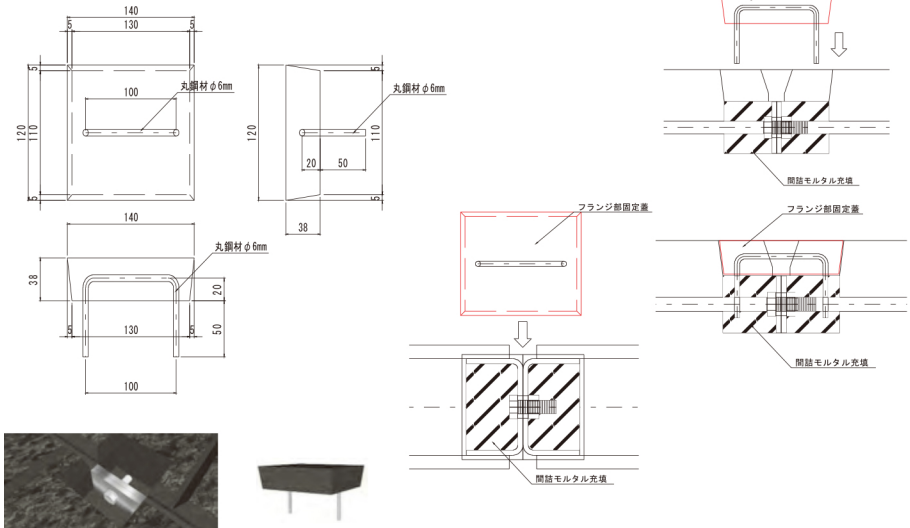


フランジ部の間詰構造

フランジ部分の間詰めコンクリートの景観を保つためパイコン製の固定蓋を設けることができます。

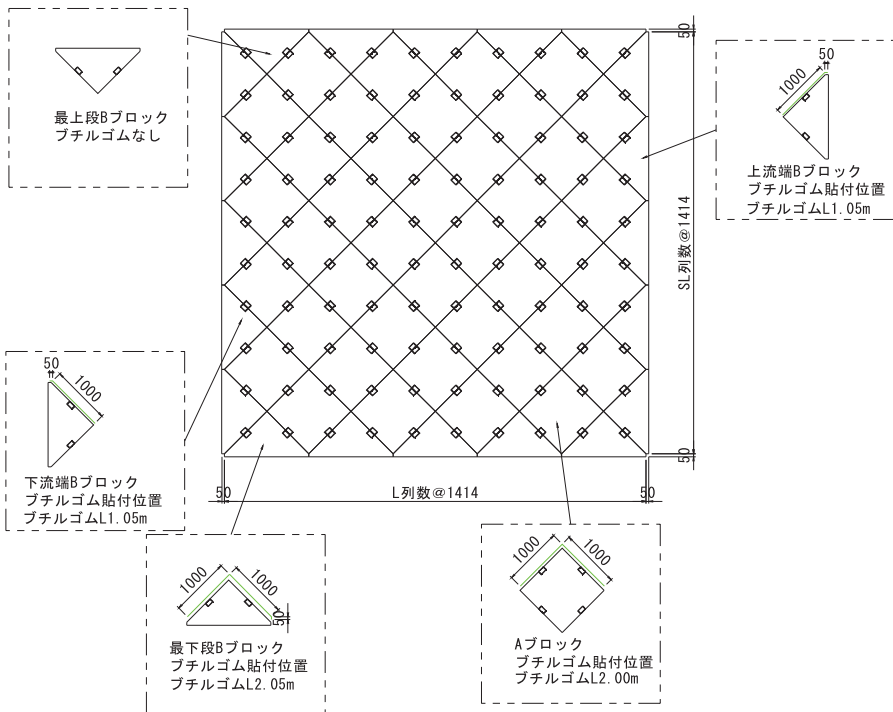
フランジ部分にモルタルを半分入れ、固定蓋（鉄筋付き）を入れることで蓋が固定され、景観性が保たれます。

【フランジ固定蓋】



敷設パターン①谷積み

谷積割付図



イージーストーン本体工 使用数量表

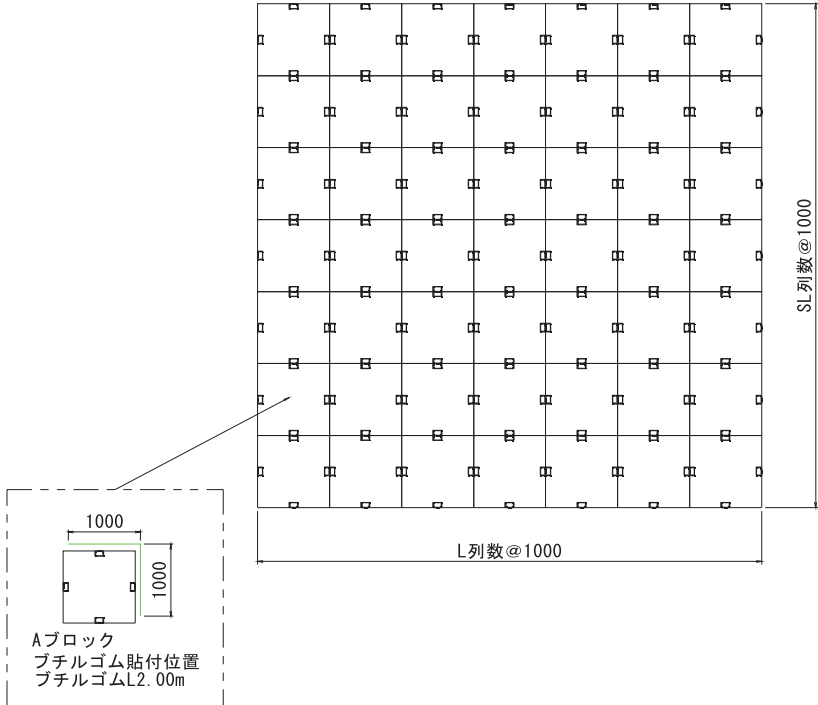
法長 14.24m(SL列数 10個) × 延長 14.24m(L列数 10個) 当り

名称	規格・算式	数量	単位
法長さ	$SL = (SL列数 @ 1.414) + (0.05 @ 2) = (10 @ 1.414) + (0.05 @ 2) = 14.24m$	14.24	m
延長	$L = (L列数 @ 1.414) + (0.05 @ 2) = (10 @ 1.414) + (0.05 @ 2) = 14.24m$	14.24	m
面積	$A = SL \times L = 14.24 \times 14.24 = 203m^2$	203	m ²
ブロック個数	Aブロック (L列数 @ (SL列数 - 1)) + ((L列数 - 1) @ SL列数) = (10 @ 9) + (9 @ 10) = 180	180	個
	Bブロック (基礎部 1 @ L列数) + (天端部 1 @ L列数) + (下流端 1 @ SL列数) + (上流端 1 @ SL列数) = 基礎部 1 @ 10 + 天端部 1 @ 10 + 下流端 1 @ 10 + 上流端 1 @ 10 = 40	40	個
連結ボルトM16ハイテンション	$(SL列数 \times 2) \times (L列数 \times 2) = (10 \times 2) \times (10 \times 2) = 400$	400	本
連結部間詰モルタル	連結部間詰モルタル ボルト数 × (0.00044m ³ /フランジ1箇所 × 2) = 400 × 0.0044 × 2 = 0.352	0.352	m ³
*プチルゴム t 13	(基礎部 1 @ L列数 @ 2.05) + (下流端 1 @ SL列数 @ 1.05) + (上流端 1 @ SL列数 @ 1.05) + ((L列数 @ (SL列数 - 1)) + ((L列数 - 1) @ SL列数)) × 2.0 = (1 @ 10 @ 2.05) + (1 @ 10 @ 1.05) + (1 @ 10 @ 1.05) + ((10 @ (10 - 1)) + ((10 - 1) @ 10)) × 2.0 = 401.5	401.5	m
*目地モルタル	(Aブロック数 × 0.01 × 0.01 × 4.0) + (Bブロック数 × 0.01 × 0.01 × 3.414) = (180 × 0.01 × 0.01 × 4.0) + (40 × 0.01 × 0.01 × 3.414) = 0.086	0.086	m ³
裏込砕石工	$V = A \times 厚さ = 203m^2 \times 0.3 = 60.9$	60.9	m ³

*は必要に応じて計上する。基礎工・天端工・調整コンは別途。

敷設パターン②布積み

布積割付図



イージーストーン本体工 使用数量表

法長 10.0m(SL列数 10個) × 延長 10.0m(L列数 10個) 当り

名称	規格・算式	数量	単位
法長さ	$SL = (SL\text{列数} \times 1.0) = (10 \times 1.0) = 10.0\text{m}$	10.0	m
延長	$L = (L\text{列数} \times 1.0) = (10 \times 1.0) = 10.0\text{m}$	10.0	m
面積	$A = SL \times L = 10.0 \times 10.0 = 100\text{m}^2$	100	m ²
ブロック個数	Aブロック (SL列数@L列数) = (10@10) = 100	100	個
	Bブロック	—	個
連結ボルトM16ハイテンション	$((L\text{列数} - 1) \times SL\text{列数}) + (SL\text{列数} - 1) \times L\text{列数})$ $= (((10 - 1) \times 10) + ((10 - 1) \times 10)) = 180$	180	本
連結部間詰モルタル	(ボルト数 × (0.00044m ³ /フランジ1箇所 × 2)) + (基礎部1@L列数 × 0.00044m ³ /フランジ1箇所) + (天端部1@L列数 × 0.00044m ³ /フランジ1箇所) + (下流端1@SL列数 × 0.00044m ³ /フランジ1箇所) + (上流端1@SL列数 × 0.00044m ³ /フランジ1箇所) = (180 × 0.00044 × 2) + (10 × 0.00044) + (10 × 0.00044) + (10 × 0.00044) + (10 × 0.00044) = 0.176	0.176	m ³
※ブチルゴム t 13	Aブロック数 × 2.0 = 100 × 2.0 = 200	200	m
※目地モルタル	(Aブロック数 × 0.01 × 0.01 × 4.0) = 100 × 0.01 × 0.01 × 4.0 = 0.04	0.04	m ³
裏込砕石工	$V = A \times \text{厚さ} = 100\text{m}^2 \times 0.3 = 30$	30	m ³

※は必要に応じて計上する。基礎工・天端工・調整コンは別途。

L型擁壁
擁壁
のり面
張出製品
河川製品
ため池
ボックス
カルバート
パイプ台管
マンホール
側溝
道路製品
水路製品
貯留システム
石材
付録

施工工程比較表

イージーストーン 3000㎡当り



イージーストーン 1.0個/㎡ (胴込めCoなし)

①	法面整形	13.6日
	↓	
②	基礎工設置	35.9日
	↓	
③	裏込め砕石	30.0日
	↓	
④	吸出し防止材設置	6.0日
	↓	
⑤	ブロック据付(連結部材取付含む)	32.6日
	↓	
⑥	連結部間詰	0.3日

3000㎡当り施工日数 118.4日

コンクリート張りブロック工(間知ブロック張り工)3000㎡当り



間知ブロック10個/㎡(胴込めあり)

①	法面整形	13.6日
	↓	
②	基礎工設置	35.9日
	↓	
③	裏込め砕石	30.0日
	↓	
④	ブロック据付	73.2日
	↓	
⑤	胴込めコンクリート打設	72.5日
	↓	
⑥	最終部 胴込めコンクリート養生	14.0日

3000㎡当り施工日数 239.2日

イージーストーン 据付参考歩掛

100㎡当り

名称	規格	単位	数量	備考
イージーストーン 350	998×998×380	個	100	
連結ボルト	M16×L45 ハイテンションボルト	本	180	
フチルゴム t 13		m	200	
世話役		人	1.0	
ブロック工		人	2.0	
特殊作業員		人	1.0	
普通作業員		人	2.0	
ラフテレーンクレーン運転	25 t 吊	日	1.0	

※施工パッケージでの積算の場合 「コンクリートブロック積(張)工 平ブロック張 150kg/個以上」 を流用する。

※300型も上記同様とする。